



授業実践研修は、初任者研修で2回、2年次研修で2回、3年次研修で1回の合計5回を採用から3年間をかけて「授業で勝負できる教員」の育成をめざして実施しています。

指導案の検討や公開授業の事後研究、実践交流を通じて、授業の進め方や児童生徒の実態に応じた手立ての工夫等、資質・能力を育成するための授業づくりについて理解することを目的としています。

第1回は先輩教員による授業動画（小学校は全グループが同じ動画を視聴し、中学校は教科グループごとに異なる動画）を用いた授業参観として実施しました。第2回は各グループ、各教科の代表者による授業動画を用いて、授業参観を実施しました。研修の主な流れは以下のとおりです。

	第1回	第2回
午前	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観の視点の設定 ・授業動画による公開授業（※先輩の授業動画） ・事後研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観の視点の設定 ・授業動画による公開授業（※各グループ・各教科の代表者の授業動画） ・事後研究
午後	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回の公開授業に向けた事前研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業実践交流（※各自持参した資料に基づく実践交流）

第1回、第2回ともに、午前中は、授業参観の視点を設定した上で授業動画の視聴を行いました。事後研究では、参観の視点を踏まえ、成果や更によりよい点を出し合い、本時のねらいに迫るための指導方法の工夫改善について協議しました。第1回の午後は、第2回の公開授業に向けた事前研究を行いました。初任者研修での学びを基に「めざす子どもの姿」を具体的にイメージしながら、受講者全員で考えを出し合いました。第2回の午後は、各自持参した資料を基に授業実践交流を行いました。子ども達に身に付けさせたい力を意識し、各学校での実践を互いに交流することで、日々の取組を振り返り、今後の授業改善につなげました。リフレクション通信 No.9 では、授業実践研修第1回、第2回を通じた受講者の学びを以下の構成で紹介します。

	項目	備考
①	公開授業（第1回）【小学校】	算数科 2年「三角形と四角形」
②	公開授業（第1回）【中学校】	各教科
③	（第2回）に向けた事前研究【小学校】	各グループから抜粋
④	公開授業（第2回）【小学校】	各グループ
⑤	（第2回）に向けた事前研究【中学校】	各教科から抜粋
⑥	公開授業（第2回）【中学校】	各教科
⑦	授業実践交流	小・中学校共通

①公開授業（第1回）【小学校】算数科2年『三角形と四角形』

○研修に向けて

- 私は授業で喋りすぎてしまいます。指示を短く的確に出すことができなかつたり、言葉が詰まったりすることが多いです。しかし、校内の先輩の授業を見せてもらうと、指示が分かりやすくて的確で、授業がスムーズに進んでいました。授業がテンポ良く進むための指示の出し方や工夫の仕方を学びたいです。
- 授業中の問い返しや切り返しに注目して先輩教員の授業動画を見たいと思います。また、普段自分の授業を動画撮影しないので、これを機に撮影して自分の授業中の発言や子ども達の発言を記録したいと思います。記録に残すことで、評価の際、子どもの発言を所見に書くことができる上に、自分の授業を振り返るきっかけにもなります。子ども達の興味を引く授業とは何か、めあてとふり返りがつながっているか、めざす子どもの姿が明らかになった授業であるか、自分の授業動画を見返して考えたいと思います。

○研修の振り返り

- 授業を見て班で話し合うことで、自分が思い付かなかつた改善点がたくさん見付かつたので、2週間後にある授業に生かしたいと思いました。特に正方形の定義が曖昧だと今後のひし形や台形についての授業で子ども達が混乱すると思うので、押さえるところは正しく確実に押さえることを意識したいと思いました。
- グループの先生方とどのような視点で授業を見るのかを考えられたので、良い意味で授業を批判的に見ることができました。良いところも改善点もあって、自分が授業する際も気を付けなければならないなと感じました。特に、学習課題との合わせ方と、図形の構成要素を時間をかけて押さえることが大事だと感じました。教員主導にならないよう、子ども達の疑問や気付きの中から展開につないでいくことをこれからの授業に生かしたいと感じました。

②公開授業【中学校】各教科

国語科 1年『モアイは語る—地球の未来』

○研修に向けて

- 授業を見る機会が少ないので、どのような「めざす子どもの姿」をイメージして授業づくりに取り組んでいるのか学びたいです。
- 授業の中で討論するには、筆者の主張を正しく理解しているか、また筆者の主張に対しての自分なりの意見を持ち、その意見に対して、筆者の主張などから根拠をもつことができているかが重要になります。その点についての生徒の取組や工夫、教員の手立てに注目したいです。

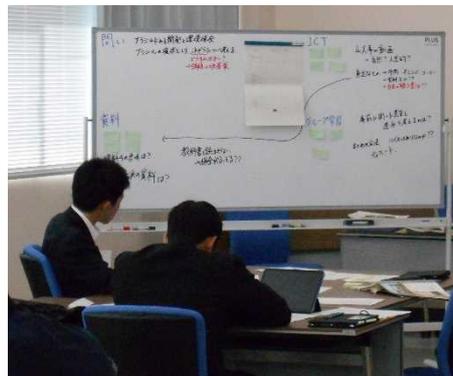
○研修の振り返り

- 授業を見て、三角ロジックの根拠の説明のヒントを得られたことが一番大きかつたです。視覚的かつ全員が分かりやすい具体性のある例示を行っていかうと思いました。また、自分が授業する立場でなく外から見ているからか、いつもどんなことに気を配って授業をしているか、どこが足りていないかを客観視する機会になりました。
- 前時の振り返りや主張の仕方の説明などの際に、ICT機器を使用されており、すごく分かりやすいと感じました。揺さぶりの仕方が上手く、自分が授業でいかに問い返しをできていないかを実感しました。

社会科 1年『地理的分野 南アフリカ州』

○研修に向けて

- この単元は、ちょうど昨日授業したところで、「熱帯林の伐採は進めるべきか」という問いでやってみました。最後時間が足らず、進めるべきかどうか聞くことができなかったので、プリントに書かせる形になりました。自分の授業との違いに着目しつつ、よりよい授業にするために、どうしたら良いのかしっかり考えていきたいです。
- 私も研究授業を控えているので、授業展開はもちろんですが、授業の仕方、話し方なども観察し、学びたいと思います。



○研修の振り返り

- 50分の授業をどのような時間配分で行えば良いのかが分かり、今後生徒の活動を増やしていく上で参考になる内容でした。授業の中で、自分にはなかった視点からの発問や生徒の反応があり、問い方一つで生徒の反応が大きく変わることを感じました。自分の問いの質を上げていく必要があり、その順序や考えさせる場面についても検討し直したいと思います。授業を見るときで自らが生徒の視点に立って客観的に資料の活用等について検討することができました。
- 視点を絞って授業動画を見ることで、視覚支援のタイミングや、班学習での役割分担など、事前の教材準備がいかに大事であるかということを実感することができました。また代替案を考えながら、授業を参観することで、自分が実際に同じ単元で授業をする際にはこうしようとイメージしながら見るすることができました。

数学科 3年『三平方の定理』

○研修に向けて

- 証明の問題では、特に一方的に教え込んではいけなく考えています。そのため話し合いがとても大切になってきますが、その中でも教員の一言で話し合いの活動量が変わってくるので、どういった声掛けを行えば、話し合いがより活発になるかを学びたいと思います。
- 教員と生徒、また生徒同士の双方向授業のあり方を参考にしたいです。進度を意識するあまり、教員の説明の時間が多くなっているのが現状です。今の状況を改善しようと、授業の初めに、フラッシュ暗算や簡単な一問一答をする等生徒が活発に活動できるような工夫をしています。

○研修の振り返り

- 実際に直角三角形の紙を用いて証明の説明をすることで、中の正方形がくり抜かれたように浮き彫りになり、電子黒板では表せないことを視覚的に表現することができると感じました。電子黒板等のICT機器を活用することで生徒の理解を深めることができる場面が多いですが、実際に具体物を使って作業させることも大切なので、教材研究の際に何が一番理解しやすいかをしっかり考えていきたいと思います。
- 授業の準備を行う中で、どのタイミングでどんな問いかけを行うのか、板書はどのような流れで書くのかといった計画は立てますが、実際に授業を行うと予定通りに行かないことの方が多いです。しかしその中でいかに目標に迫る問い返しをするのか、振り返りのしやすい板書を作るのかといったところを意識して準備も進めていかないといけないと思いました。授業の良し悪しに関わらず、自身の授業を振り返り、評価・改善していくことを繰り返していきたいです。

理科 2年『音の振動』

○研修に向けて

- 実験をする時に、到達したいところまで行けるように時間配分をどうするか考えていきたいです。また、到達できなかった時、その授業をどう終えるのかについて話し合いたいです。
- 各単元に対して様々な指導方法を知りたいです。また、授業をしている様子を見て、良い点、改善すべき点、自分ならどんな方法で臨むか等を考えながら、しっかり学び取りたいです。

○研修の振り返り

- 結果や考察等、生徒にどの視点で考えてほしいかを明確にする必要があり、ワークシート作成に関して工夫する部分がたくさんあると感じました。まとめの際に動画視聴をすることの方が多かったですが、動画を見ながら、実験する目的を明確にする方法もあると学んだので今度やってみたいです。
- 指導案において、音を視覚的に捉えることを重視して記述されていたので、それがどのように授業に反映されるかに注目しました。ギター、モノコード、オシロスコープをどのように活用するだけでなく、実験時の教員の言葉選びや条件設定をしっかりと考えなければ、結果をどう記録すればよいか、何を読み取ればよいかということが、生徒自身分からなくなってしまうということが分かりました。

音楽科 2年『オペラに親しみ、その音楽を味わおう』

○研修に向けて

- 総合芸術であるオペラ「アイダ」から、どの要素に絞って知覚と感受を働かせる授業を組まれているかを参考にさせていただきたいと思います。
- 実際に先輩の授業を参観できるということで、鑑賞の授業をどのように進められていくのかとても楽しみです。できるだけ多くのことを吸収して、明日からの授業実践に繋げたいです。

○研修の振り返り

- アイダは総合芸術ということもあり、考えられることはとても多いです。今回の授業では、50分の授業の中で、音色に重点を置きながら様々な要素に触れていました。その際ワークシートを工夫することで、理解しにくい生徒でも何か音楽的なことが書けるように様々な工夫が凝らされていました。
- 鑑賞は、知覚と感受を関連付けるために、生徒主体で進めることが大切だということ学びました。つい教員側から言ってしまうようになりますが、生徒の言葉を多様に引き出すための発問や、問い返しなどを生かしながら授業を進めていきたいです。生徒の活動時間に余裕をもち、めざす子どもの姿を具体的にイメージし、ゴールを見据えた授業展開を考えたいと改めて感じました。



美術科 2年『オリジナルブランドをつくろう』

○研修に向けて

- 今回は先輩教員の授業を鑑賞する中で、特にテーマについて伝える時、どのように生徒に説明するのか見ていきたいです。また、制作に入る流れについても考えていきたいです。
- 他校の授業を見る機会が少ないため、作品も含めて学びたいです。美術科においては、教員の発問が非常に重要だと思うため、アドバイス等について特に意識して視聴したいです。

○研修の振り返り

- 他の人の授業を見ることで、自分に足りないことやできていなかったことを知ることができました。シンボルマークのデザインの導入とデザイン案の授業でしたが、個別に考える時間やグループで考える時間、全体で発表する時間を取り入れていたことや、ICTの活用等が参考になりました。
- 授業の導入で提示していたマークについては、なぜ参考作品としてそのマークを選んだのかが分からず、理由をもって提示した方が良かったと思いました。板書についてもプロジェクターを使用する等の工夫はされていましたが、画面が同じマークで止まったまま授業が先に進んだので、私が授業をする時は画面と授業の流れを一致させようと思いました。



保健体育科 1年『球技（ゴール型）バスケットボール』

○研修に向けて

- 私も公開授業を控えているので、種目は違いますが、同じ球技（ゴール型）を行う上で、苦手意識をもっている生徒や不安な生徒への声掛けや手立てについて学びたいです。

○研修の振り返り

- バスケットボールの授業を見て、活動内容を詰め込みすぎずシンプルにし、ねらいに迫っていくための共有時間をどう取れるかが大切だと感じました。また、授業を効率よく進めるためにパターン化することは重要なことですが、淡々と進んでポイントを蔑ろにしないように工夫することも大切だと感じました。
- ICT等を効果的に取り入れ、第三者の視点で動き等を確認させることで、生徒の動きに対する理解が深まっていると感じたので、見習って取り入れていきたいです。



技術家庭科（技術分野） 3年『材料と加工の技術』

○研修に向けて

- 技術の教員は各校に1人しかおらず、授業を見学したり同教科の先生に授業についてアドバイスをもらえたりする機会が他教科に比べて本当に少ないです。動画とはいえ、こういった先輩の授業を見る機会は本当に貴重なので、吸収できるところは吸収して、自分の授業に生かしたいと思います。
- 先輩方の授業を見る機会が少ないので、授業を見て指導のポイントや工夫点を見つけていきたいです。指導案をよく読み、授業者になったつもりで研修を受けたいと思います。



○研修の振り返り

- 鋳造という難しい内容の題材でしたが、授業者の工夫が感じられる授業でした。ICTをうまく活用し可視化することで、生徒の深い学びにつながると感じました。私自身あまり生徒に「おもしろい」と感じさせることができた経験がないので、この授業を参考にして、生徒の興味・関心を高める内容の授業を考えたいです。

技術家庭科（家庭分野） 1年『安全な住まいで安心な暮らし』

○研修に向けて

- どのような発問をしているのかや、生徒が主体的に学び、考えられるような授業づくりの工夫を知りたいと思います。
- 授業動画を見て、授業の進め方や発問の仕方などを学んでいきたいです。今、生徒に合わせた発問の仕方を研究しているので、簡単な発問と少し難しい発問の使い分けの仕方などを学んでいきたいです。

○研修の振り返り

- 班を生活班ではなく、レポート課題の内容で編成する考えが私にはなかった発想だったため、自分の授業でも取り入れたいと思いました。付箋に良いところを書いて相手に渡すという活動をするときの説明が丁寧で、生徒と丁寧に確認していたところが分かりやすく良かったです。また、生徒のプリントを前に写して発表する活動を自分の授業でも取り入れたいと思いました。
- 私は、地震の対策グッズを写真でしか紹介をしたことがないので、今日の動画を見て実物を準備してみたいと思いました。付箋を使って意見交換をしたり、その場で生徒の課題を写真に撮って電子黒板に映したりする等、自分では思い付かないようなアイデアやテクニックがあって、自分の授業に取り入れたいと感じました。また、授業を客観的に見ることで、普段の自分の授業を振り返ることができました。やはり声掛けや指示の出し方は工夫が必要だと感じました。事前準備も大切だと思います。生徒の考えを深められるような授業をつくれるように工夫しながら頑張りたいです。



外国語科 2年『受け身「World Heritage Sites」』

○研修に向けて

- ・ 現任校に着任してから、英語の教員が少ないこともあり、他の先生が英語の授業をしているところを見る機会が減りました。出張等でも授業を見る機会がありますが、同じ初任者として自分の授業と比較したり、良いところは見習ったりなど、様々な可能性を知りたいと感じています。
- ・ 授業の導入における生徒とのインタラクションの進め方や、生徒への問いかけ方などに注目して見たいです。また、ライティングを行う授業のため、ねらいに沿った内容で生徒が文章を書くために必要な手立て、特に机間指導も含めた活動中や活動後のフィードバック・アドバイスなどについても参考にしたいです。

○研修の振り返り

- ・ 受動態の導入のは、ライティングこれから授業をする範囲なので、どのように行っているのか見ることができてよかったです。ミライシードのオクリンクという機能を活用して受動態の文を作らせていて、タブレットの活用方法も参考にできると感じました。また、他の人の授業を見ることによって自分の授業を振り返ることができました。



③ (第2回) に向けた事前研究【小学校】 各教科からランダムに抜粋

○研修に向けて

- ・ まず、これまでの研修で学んできた、ねらいの設定の仕方や、そのねらいに到達するための手立てを意識しながら授業を考えるようにしたいです。一つ一つの学習活動に明確な意図をもち、必要性を教員が理解した上で授業を行うことができるようにしたいです。また、子ども達が多面的・多角的に物事を捉える力を身に付けられる授業について考えたいです。
- ・ 授業における不安はまだ尽きないので、研修で他の先生方と交流したいです。自分だけでは限界がある部分でも、話をする中で納得できることや新たな気づきを得ることがあります。前回の事前研究を経て教材研究の方法が明確になったと感じるので、今回も実際の授業を想定し、交流を深めながら考えていきたいです。

○研修の振り返り

- ・ 道徳科の授業で、ねらいに向かう中心発問を考えるのが難しかったです。今回の教材は登場人物の心の揺れがあまり見えず、読み手が登場人物になったつもりで考えていく必要があると思いました。また、本時のねらい以外にも教材から気付くことがあるため、ねらいから遠ざかったままで終わらないように、問い返しや補助発問をすることが大切だと思いました。道徳科の板書がワンパターンになり、子ども達の意見をつい書きすぎてしまうので、板書の方法を知りたいです。



④公開授業（第2回）【小学校】各教科

A1グループ 3年国語科『三年とうげ』

○研修に向けて

- ・国語科の物語文の授業の組み立て方に不安があります。例えば、文章から想像を広げる活動を取り入れた時、子ども達に場面ごとに読ませても、中だるみしそうなので、どんな工夫ができるか今回の研修を通して知りたいと思います。

○研修の振り返り

- ・『三年とうげ』という教材を使って、人によっておもしろいと感じる点は違うという価値観の違いについて授業をするという発想がすごいなと思いました。そして何よりも、子ども達を褒める声掛けがとても上手でした。子ども達の意見や行動に価値付けを何度も行うことで、クラスの雰囲気により良い方向へ向かうのだろうなと感じました。
- ・一時間の中で子ども達に学ばせたいことを絞り込みそこについてどのような手立てや活動をするかという視点をもって授業をつくる必要があると気付くことができました。



A2グループ 4年算数科『変わり方』

○研修に向けて

- ・つまずきがある子ども達に対してどのような手立てが授業の中で有効か、公開授業を参観して考えたいと思います。また、全員が深く考えられるような発問や手立てを学びたいです。
- ・公開授業での発問の仕方やICT活用、板書等を学びたいです。支援を必要とする子ども達への声掛けやグループ学習（対話）をどのように行っているかも勉強させていただきたいです。

○研修の振り返り

- ・本時につながる既習事項を丁寧に復習し確認しているのがいいなと思いました。授業のはじめに気になっていた児童がいたのですが、全体交流の中で先生が取り上げて活躍する場面があり、友達から拍手をもらっていてとても嬉しそうでした。子ども達の反応がとても素直で、どの意見にも先生が肯定していたところから、学習の雰囲気ができているなと感じました。めあてに立ち返らせて考えさせたことにより、様々な意見が交流でき、参考になりました。



A3グループ 3年国語科『すがたをかえる大豆』

○研修に向けて

- 説明文の授業展開について難しさを感じているので、自分が授業するときには生かせる指導方法を学んで帰りたいです。
- 国語科の授業をする際、発問にいつも悩んでいます。特に説明文の授業は一問一答のような形になってしまい、児童が意欲的に考えを深める発問をするのが難しいと感じています。授業や事後研修の中で発問の仕方の工夫を見つけ、今後の授業に生かしたいと思っています。

○研修の振り返り

- 授業者の授業を見せていただき、授業のねらいや子ども達に身に付けさせたい力を教員が的確に捉え、引っ張っていく姿勢が、私には足りない姿勢だったのですごと思いました。
- 他の人の授業を見た感想や意見を聞いて授業を見る視点、感じ方は似ていると感じました。授業をする上で大切なことや押えておくべきポイントは、決まっているのかなと思ったので、「子ども達の声（考え）を大切にする」「なぜそうなるかをよく考えさせる」等を今後も意識していきたいです。



A4グループ 2年特別の教科 道徳『お月さまとコロ』

○研修に向けて

- 道徳科の授業は、中心発問を設定した上で、その他の発問をどう設定するか、どのように発言を導くか等がまだまだ自分でも分かっていない部分が多いため、自分の学びにしっかり繋がりたいと思います。
- 子ども達の心を引き付ける導入の在り方と発問や補助発問、子ども達の発表への問い返し方を学んで帰りたいと思っています。

○研修の振り返り

- 今回の研修の中で道徳科の授業において、自分事として考えることは重要ですが、それをどのタイミングで取り入れるかということを考えていかなければならないと感じました。私も低学年を担当していますが、展開の場面で入れてしまうと、教材と自分のことが混ざってしまったり、視点が混乱してしまったりするため、導入や終末部で取り入れてみたいと思います。
- 中心発問の場面では、登場人物の気持ちに共感させることで、自分自身との関わりの中で道徳的価値について考えさせることが大切だと分かりました。また、葛藤している場面では、効果的な問い返しを行い、考えを深めさせたいと思います。



B1 グループ 4年特別の教科 道徳『いのりの手』

○研修に向けて

- ・前回の事前研究では話し合いが煮詰まってしまう、結局どうしたら子ども達に友情・信頼について考えさせることができるのか、はっきりとした案が出ませんでした。前回の事前研究を受けて授業者がどのように授業を行ったのか関心があります。また道徳科の授業は毎回子ども達が自分の価値観と深く向き合うことができるような発問ができていないので、今回の授業実践から発問の仕方を学びたいと思います。

○研修の振り返り

- ・授業を拝見して、子ども達が自分の本音を語る事ができており、クラスの雰囲気づくりが素晴らしいと感じました。子ども達同士の対話だけでなく授業者がうまく子ども達のつぶやきを発表につなげていて、声掛けの方法も学ぶことができました。さらに、子ども達の興味を引く教材の提示の仕方をされていて、私も今後の道徳科の授業づくりに取り入れていきたいです。また、授業動画を見た後にこの授業づくりのポイントは何だったかについて話し合いましたが、私が気付いていなかったところに着目している方もいて、そういう見方もあるのかと勉強になりました。今回の学びを授業づくりに生かしていきたいです。



B2 グループ 2年特別の教科 道徳『黄色いベンチ』

○研修に向けて

- ・子ども達の意見で考えが深まる道徳をめざしており、そのためには、発問をどのようにするのかということや問い返しをどのようにところで効果的に用いるのかが大切だと思っています。私は授業者がどのように発問しているのか、問い返しなどのタイミングを学びたいです。また、導入から展開へどのように繋げているのか注目して授業を参観したいと思います。

○研修の振り返り

- ・ルールやきまり、マナーの中に「きまりがなくとも守る」という考え方があり、それを考えさせるような道徳科の授業でした。最初と最後の発問を同じにすることで、授業を受ける前と後での考えの変容を分かりやすくしたり、中心発問に対する子ども達の意見に丸を付けて子ども達に自信を持たせたり、たくさんの工夫がありました。子ども達の考えがたくさん出ていたので、学級経営の観点でも大切なことを学べたと思っています。
- ・導入でアンケートの結果を提示し、「きまりを守ること」について自分達の問題として捉えさせたことで、本時の道徳的価値について深く考えるきっかけができていたと思います。また、子ども達の意見を分類して板書することで、子ども達が考えやすくなっていました。話し合いの仕方も大切ですが、その前段階として子ども達が自分事として捉え、自分なりの意見をもつことが大切だと感じました。



B3グループ 3年算数科『式と計算』

○研修に向けて

- ・学習に困難さを感じている子ども達への声掛けや発問の内容について、今回の授業から学んでいきたいです。めあてとまとめの整合性をつけるためにどのようなことを考えていけばよいのかについても学びたいと思います。
- ・事前に考えためざす子どもの姿に迫るために、どのような授業づくりをされたのか学びたいです。多様な考え方が子ども達から出ているのか、それぞれの考え方の意味、よさについて子ども達はどう捉えられているのか、子どもが生き生きと活動しているところはどこなのか、公開授業を見て学びたいと思います。

○研修の振り返り

- ・子ども達に対する声掛け、問いかけが非常に丁寧で、参考にしたいところが多くありました。特に「自分の意見をみんなに広めたい人」や「みんなの考え聞きたいよね」の言葉掛けが印象に残りました。先生の言葉掛けが子ども達により影響を与えていて、子ども達も丁寧な言葉を使ったり、友達の意見をしっかり聞いたりする姿が見られました。どのようにすれば子ども達がよい聞き方、分かりやすい話し方ができるのかと考えていたので、参考にしたいと思います。
- ・事後研究の中で、改善点として挙げられた「時間配分や板書の仕方、図と式を関連させた説明」等は、自分が授業をする際に気を付けていきたいことだと感じ、よい学びになりました。

B4グループ 4年算数科『面積』

○研修に向けて

- ・本時の学習課題（本時で求める問題）を提示した時に、どのような発問をすれば本時のめあてに繋がるかを学びたいです。また子ども達がめあてに準じた振り返りができるように、どのような工夫が必要なのかを学びたいです。
- ・この単元は、いろいろな意見が出るからこそおもしろい反面、たくさんの意見が出た後、どのように深めるかが難しく、今回の公開授業を通して集団思考の在り方を学びたいと思います。

○研修の振り返り

- ・授業動画を観る前に、グループで話し合ったことは、まとめ方と教員の声掛けや手立てに着目して、授業を参観したいということでした。まとめのとき、今日何ができるようになったのか、何が分かったのかが明確になるように、めあてを提示する段階で、焦点化する必要があると分かりました。発問の仕方はこれからの私の課題だと感じたので、意識して日々取り組んでいきたいです。



- ・これまで授業をする中でうまくいかずにモヤモヤとする気持ちがありました。そんな中で指導主事から「授業中、子ども達は話し手よりも聴き手にまわる時間の方が多い。聴き手の思考を促すことも大切。」という言葉が腑に落ちて、モヤモヤしていた気持ちがすっきりとしました。聴き手が何を意識して発表を聞き、ねらいに迫らせるかという視点も大切にしたいです。

⑤第2回に向けた事前研究【中学校】各教科からランダムに抜粋

○研修に向けて

- 他の先生の授業を参観する機会が現在はほとんどなくなってしまったので、とても楽しみです。今回は授業者ではありませんが、受け身にならず、少しでも楽しんで授業づくりができるように、耳を傾け、自分なりに貢献をしたいと思います。
- 今回の単元は、昨年度臨時講師として行った経験があり、あまり楽しい授業にならなかった反省があります。だからこそ、今年度もう一度扱う際は生徒が楽しいと感じられて、主体的に学びに参加することができるような授業計画を立てたいです。そのためにも、研究授業の指導計画やねらいを一緒に吟味していきたいです。

○研修の振り返り

- 一人で授業計画を作ると悩んでなかなか先へ進みませんが、仲間と検討すると本当に楽しいと感じました。多くの意見が出て、それぞれの良いところを擦り合わせながら作り上げる指導案、自分もぜひこの流れで授業がしたいと思える内容のものが出来上がってとても嬉しいです。まだまだみんなと他の教材も授業を作っていきたいと感じるとともに、自分の見方もどんどん成長しているとも感じました。難しい題材と考えるすぎず、自分も生徒も楽しく学んでいける授業にしていきたいと思います。
- 難しい概念を伝える際にどの程度の情報を生徒に提供すれば良いのか、すべてを伝えなくても適切なバランスを見つけることに、時に悩むことがあります。今後は、これまでに学んだことを基に授業計画を練り、自分自身の授業に対しても批判的な視点をもちながら授業の改善に努めたいと思います。これまでの経験をフレームワークとして活用していくことで、より効果的な授業づくりをめざします。

⑥公開授業（第2回）【中学校】各教科

国語科 1年『少年の日の思い出』

○研修に向けて

- 「少年の日の思い出」は、生徒にとって構成や内容理解への難易度が高い作品だと考えています。そのため、授業者がどのように授業展開し、生徒の意見を引き出すのかを注目して参観して学びを得たいです。
- 「答えのないテーマに対してどのようにディスカッションを行うのか」、ディスカッションの在り方をしっかり見たいと思います。また、「本文を根拠にする」と「記録に取るワークシート」などについても、私も近々同じ単元をするので、授業づくりの参考にさせていただきたいと思います。

○研修の振り返り

- 今回、ディベートとディスカッションを合わせた「ディベカッション」が取り入れられていました。生徒は対立する二つの立場に分かれ、意見を交わしていました。途中で自分とは違う人の立場への質問を考える時間や、その質問の答えを考える時間が設定されていて、グループで活発に話し合いが行われていました。相手の立場の意見をしっかりと聞き、理解しているからこそ、質問を考えることができたのだと思います。その際に、机間指導をしながら、教員からの言葉掛けや支援があれば、生徒はより深く考えることができたと思うので、自分自身の実践を振り返り生かしていきたいと感じました。

社会科 2年『武家政権の展開と世界の動き』

○研修に向けて

- ・公開授業が「化政文化」で、文化の取り扱いは自分が最も苦手としているところなのでどのように授業を進めていったのか参考にしたいです。文化は人物名と作品名の羅列で終わってしまうことが多いので、生徒が興味関心を持つ手立てや工夫をたくさん見付けたいです。
- ・ここまでの研修を通して、授業のつくり方を学んでいく中で、それぞれの単元について子ども達が物事を多面的・多角的に意識しながら進めていくことを心がけています。一方で、学びを深める授業をしていくために、今日の授業を参考にしたいです。

○研修の振り返り

- ・公開授業では、文化について用語を押さえる暗記型ではなく、社会の変化と関連付けられました。いつもの授業では、重要語句を伝えるのみになっているので、浮世絵や狂歌などの内容に深く触れ、当時の庶民の思いを生徒同士が共有できるような授業をつくっていきたいです。また、グループでの活動では、指導の工夫や手立てを考えることができたので、授業で取り入れたいです。
- ・歴史の授業の中で、自分達の生活に結び付けて考えさせるという視点が印象的で取り入れたいと感じました。また、資料一つ一つに対し何を気付かせるのか、どのように気付かせるのかを検討したことで、めざす子どもの姿に向けた発問によって、より深い考えを導くことができると分かりました。毎回の授業づくりの中で取り入れたいです。

数学科 1年『平面図形』

○研修に向けて

- ・教員と生徒、そして生徒と生徒の双方向的な授業にするために工夫されている点を学びたいです。教員の一方的な授業では、主体的・対話的で深い学びの実現や確かな学力の育成は難しいと感じています。そのため、私は普段の授業で、生徒が一人一回は発言する機会を設けたり、少し難しい問題は近くの生徒同士で教え合う機会を設けたりするなどの工夫をしています。今日の公開授業では、この他にどのような工夫があるのかを見出します。
- ・導入の在り方を学びたいです。授業の導入で、生徒が興味を持ち、学びに向かう意欲を高める必要があります。私は、展開の時間を優先してしまうのがあまり、導入をおざなりにしてしまうことがあるので、公開授業の様子から、時間配分や導入の工夫を学びたいと思います。

○研修の振り返り

- ・公開授業を見させていただき、改めて「話し合う教材」の選択は難しいと思いました。答えがたくさんある問題の方が盛り上がると思いますが、問いが抽象的になってしまいます。ヒントを出し過ぎても結局答えを絞ってしまうことになり、結果的に答えを誘導してしまうことになるのかなと感じました。授業をしていく中で、目標を達成できたらいいのですが、教員の我慢の時間が必要だと感じました。
- ・同じ内容の授業をしてみて、回転移動の作図は生徒が苦戦してしまう場面だったので、理解させるための発問が重要だと感じました。ICTを活用して移動の様子を視覚的に理解させることができているので、図形の分野ではICTを積極的に活用していきたいです。グループワークなどを取り入れる際に、時間配分やメリハリをつけさせることが自分の課題なので、今回の事後研究での意見を自分の授業にも生かし、より良い授業づくりをめざしていきます。

理科 1年『生きている地球』

○研修に向けて

- 授業を行う上での引き出しを増やしていきたいです。発問の仕方、言い回し、発表の仕方、評価の材料の集め方等です。授業内容の研究を十分にできているかと言われるとそうではないため、研修でより多くの授業内容についての話や情報交換ができると嬉しいです。
- 授業参観を通して、生徒主体の授業の方法を学んでいきたいです。普段は、教員主導で授業を進めているため、なかなか生徒自身が課題解決のために主体的な活動ができていないので、今日の研修で考えていきたいです。

○研修の振り返り

- 実験や調べ学習の前の、装置の説明や使用するサイト、システムの説明をいかに分かりやすく手短かに済ませるかを考えていきたいです。今回の公開授業は、単元の導入となる授業のため、事前授業でタブレットを活用して地理院地図とGoogle Earthの使い方を説明されていました。そのため、本時の授業では活動前の説明が比較的手短かに済んでいたように思います。使用するものによって、多くの時間を割かないといけない場合もありますが、授業時数には限りがあるため、プリントや電子黒板などをうまく活用して説明し、個別の補助説明で補えるようにしたいと感じました。
- 理科の授業で、「なぜ？」という生徒の興味・関心を引く部分は常に意識したいと思いました。そのためにも、一回一回の授業の中での盛り上がる場面の設定はしっかり準備しておかなくてはいけないと感じました。



音楽科 1年『雅楽 平調 越天楽』

○研修に向けて

- 雅楽は子ども達に馴染みがありそうでないので、授業を客観的に参観して、自分の授業づくりに活かせることを見つけ出したいです。
- 雅楽という難しい分野で授業していただいたということで、口唱歌の部分もどのような展開でどのような生徒の反応が出てきたのか、学んでいきたいです。

○研修の振り返り

- 授業を構成するにあたって単元の目標を明確にもち、全体の見通しをもつことの重要性を改めて感じました。公開授業では、主発問に至るまでの補助発問が綿密に組み立てられており、生徒自身の気づきに伴って少しずつ授業が展開されていました。生徒の状況に応じて、いかに主体的な学びに繋げることができるか、様々な方法を検討する必要性を感じました。
- 前回予想した生徒の反応と、実際の生徒の反応が全く同じ部分がありました。自分の学校以外の生徒の様子を見ることができ、とてもよかったです。日本の伝統音楽は自分としてもとても扱いづらい題材です。今回授業をしてくださった先生の授業をもとに、さらに良い授業にするために試行錯誤をする時間がとても有意義でした。「間」をもとに、伝統音楽に親しんでいくための手立てを今後もしっかりと考えていきたいです。
- 同期みんな考えて、同期みんな授業を振り返れる場を一年目からいただけることが本当にありがたいと感じました。

美術科 2年『東から西へ』

○研修に向けて

- ・美術科の授業を見る機会は多くないため、子ども達の様子と先生の考えている手立てを中心に見ていきたいです。特に鑑賞の授業の進め方が難しく、なかなか実践するときに正解が分からず困っている状態なので、他の先生方がどのような授業をしているかなどを交流の中で聞いて学びたいと思います。
- ・鑑賞の授業で作品について生徒にじっくりと考えさせる時間が取れないと感じるため、ワークシートやICTの使い方を含めて他の先生の方法や手立てを学びたいです。

○研修の振り返り

- ・参観の視点を先に考えてから動画を視聴したため、気づきが多かったように思います。先生の発問と子ども達の反応を見て、自分の授業に足りないと思うことが多くありました。子ども達が気づきを得る機会を潰してしまっていると思うこともあり、子ども達同士で話し考える機会をもっと取り入れていかなければならないと感じました。鑑賞の授業に苦手意識があり、教え込むような授業をしてしまっているように思うので、子ども達が造形的な要素に目を向け、美術に興味関心をもてるような授業を考えていきたいと思います。
- ・ジャポニズムを取り上げた研究授業を見させていただきました。授業の展開としても、ジャポニズムの作品を取り上げるだけでなく、日本の浮世絵や琳派の作品と比較しながら、構図や色彩などを生徒に気付かせるようにされていました。またICTも活用されており、一人一人が自分のタブレットで作品を見られるところが画期的でした。見習ってみたいところが多く、とても参考になりました。

保健体育科 2年『球技（ベースボール型）』

○研修に向けて

- ・ベースボール型の授業は、技術の個人差がありルールも難しいと思います。その中で、どのような工夫をして授業を行っているのか、また、自分の授業にどのように生かせるのかを考えながら、公開授業を見て学びたいです。生徒の反応や動き等を見て、教員がどのように指示を出しているのかを確認し、今後の授業に生かしていきたいです。
- ・現在はまだベースボール型の授業を行っていませんが、球技を行う際に楽しく学ぶにはどのような工夫があるのかを常に考えながら行っているため、楽しく学ぶためのいろいろな場の設定や指示の工夫、ルールの簡易化を学びたいです。

○研修の振り返り

- ・公開授業を通して、体育分野の指導において安全面や運動量の確保、生徒の評価など全てを両立しなくてはならないことがとても難しいということを感じました。しかし、今回の授業では男女共修であっても生徒一人一人がいきいきと参加し、積極的な声掛けや配慮などがあり、ベースボール型の授業という苦手意識の強い生徒もいる種目でありながらも楽しそうに活動していたのがとても印象的でした。ねらいを明確にしつつ、生徒が積極的に活動できるよう、種目に対する段階的な指導の重要性を改めて実感しました。
- ・生徒への指示の仕方や反応は、私も今後授業で生かしていきたいと感じました。しゃがんで話をしたり、めあて・流れをホワイトボードで提示できるように準備、工夫していきたいと思います。守備、攻撃を行う中で、めあてについて生徒たちが意見を出し合っていて、めあての明確化は授業中の生徒の意欲に関わるものだと感じ、今後の授業でめあてやルールを明確化した状態で行ってみたいと思いました。一回の授業でたくさんの評価はできないので、何を評価するのか、一回の授業ごとに決めて、安全面、運動量もめあてにあったものにしていくことがよいと感じました。

技術・家庭科（技術分野） 1年『3DCAD を用いて製品の製作を考えよう』

○研修に向けて

- 現在、手書きの製図より 3DCAD の方が多く使われています。その中で、材料と加工の技術を教える中で製図の等角図とキャビネット図は必ず触れないといけないのですが、時代の背景を考えると 3DCAD も教えるべきなのでどのような授業展開をしていけばいいか初任のみなさんで話し合いたいです。
- 技術は、各学校にほぼ 1 人の教科なので、他の先生方の技術の授業を見るのがあまりない上に、同じ初任の先生がどんな授業をされているか動画で見ることができるのでしっかりと勉強したいです。また、事前の検討から、実際にはどのような授業になっているか、他の先生方と授業後の振り返りをしっかりしていきたいと思います。

○研修の振り返り

- 3DCAD を用いた授業実践について話し合いをしました。製図は手書きで行うよりも WEB 上で書く方が主流になってきているので、自分の授業でもタブレットを活用しながら実践していきたいと思います。ICT の活用だけではなく、製作する作品についても、生徒の創造力をうまく引き出せるような教材等を準備していきたいです。
- 授業を参観して、本校ではなかなか実践するのは難しいと感じました。実践したクラスは聞く時間と作業する時間のメリハリが徹底されており、構想図の作品のレベルも非常に高かったです。学年で、生徒の授業に対する姿勢の指導をしていかなければならないと感じました。3DCAD は見える化できるところがいいと感じました。

技術・家庭科（家庭分野） 1年『衣服の選択と手入れ』

○研修に向けて

- 今年は既に衣生活の分野の授業を終えましたが、私は教科書の内容を教えていくだけの授業になってしまったので、どのような工夫ができるのかを学びたいです。また、指示の出し方や、タブレットをどのように活用すれば良いのかを学びたいです。
- 衣生活分野は自分自身も授業をしたことがあるので、自分の授業を振り返りながら授業を参観したいです。T.P.O.を踏まえた自分らしいコーディネートを考える授業は、どの場面を設定して考えさせるかがポイントだと思うので、そこを特に確認していきたいです。

○研修の振り返り

- 自分が授業をした時は自分に似合う色を探す際に、画用紙を使用しましたが、授業を参観させていただいた先生はパワーポイントを利用しておられました。パワーポイントを利用する方が、色の種類を多く準備でき、破れる心配もないので真似したいと思いました。コーディネートを考える時、それまでに学習した色や柄、服の形を考慮してコーディネートを考えさせることに難しさを感じているので、今後はうまく考慮できる方法を探していきたいと思います。
- 自分が悩んでいた襟と柄が与える印象の違いを理解させるためには、太い横縞と細い縦縞の画像を用意するなど、視覚的により分かりやすくする手立てを考えなければならないと感じました。また、自分に似合うカラーや襟や柄が与える印象の違いの視点を踏まえてどのようにコーディネートを組ませるか悩みでしたが、もっと衣服の画像に奇抜なものを用意したりするなどして、選択肢に幅を持たせるという意見を参考にしたいと思いました。

外国語科 2年『Things to do in Japan』

○研修に向けて

- ・今回授業される先生はリーディングの活動をされるということなので、どのような活動をされるのかとても興味があります。普段は教科書の本文の内容を文法事項や熟語などを押さえながら読み取るくらいで、リーディングに力を入れた活動はあまりできていないので、授業をされる先生や他の先生方と意見を交流しながら色々な方法を学んでいきたいです。
- ・授業をする中で、リーディングの扱いが難しいと感じています。新出単語も量がありますが、教科書に意味が書いてあるので、発音練習だけしたらよいのか迷うことがあります。文章の意味を理解するために、ジグソーリーディングに挑戦したいと考えているので、教員の言葉掛けや生徒の活動の姿を見たいと思います。

○研修の振り返り

- ・音読活動のテンポ感が非常にはやく、生徒が英語の発音に抵抗感をあまり持っていないように感じました。学力等に関わらず英語に自信を持って発音させられるような指導について考えていきたいです。ジグソーリーディングによって他の人に文章内容を伝える必要が生まれて、それが文章の概要を捉える目的として意識させられる点がよかったと思います。しかし、実際の授業の進め方に関しては、どのように足場かけをするかや概要を捉える意義を生徒に理解させられるかなどについて生徒の実態を見ながら準備していかないといけないと感じたので、今後に生かしていきたいです。
- ・とても刺激になりました。授業を拝見し、学ぶことが多くあったのはもちろんですが、自分自身の授業を振り返る機会にもなりました。授業者は終始笑顔で、難しい活動の中でも、「難しい」という言葉ではなく、「チャレンジ」「トライ」という言葉を使い生徒を励ましておられたので、私も今後そうしたいと思いました。生徒主体でされているリーディングの授業を見ることができて、とても勉強になりました。

⑦授業実践交流【小・中学校】

○研修に向けて

- ・初任者のみなさんの指導案は多くの方々の支援があって完成したものであると思います。その中で、どのようなアドバイスをもらって、どのように生かしたのかについて聞き、自分の授業に取り入れたいです。

○研修の振り返り

- ・思考の流れが分かるようにワークシートを工夫している人が多く、とても勉強になりました。どのような第二発問をどのタイミングで行うか、子ども達の発言を生かしたまとめをどのようにすれば良いかを悩んでいる人が多く、この単元だったらこうすれば良いのではないかと話し合うことで考えを深めることができました。

小学校

○研修に向けて

- ・普段から迷いながら授業づくりをしているため、他の先生方がどのようにして苦手な分野の授業づくりをされているかを学びたいです。また、どのように生徒の興味を引き出しながら授業すればよいかを考えていきたいです。

○研修の振り返り

- ・みなさんがスライド、ワークシート作成などにとっても工夫されていることを知り、自分も頑張らなければと励みになりました。忙しい中でも、自分が担当する生徒に合わせて、ねらいを考え頑張っておられるのだと思い、自分を振り返る機会にもなりました。また、パフォーマンステスト、評価についても話が広がり他校の様子を聞いてとても有意義な時間となりました。

中学校